

町政に関する

一般質問の主題

田口 義博

- 特別職の職員で非常勤のものの選任基準
- 行財政計画と合併
- 町道3号線と町道4号線の整備計画

増田 等

- 経営感覚やコスト意識重視の町財政の運営
- 保育・小一貫教育
- 若い子育て世代が住みたい、住み続けたいと思える施策
- 松伏・田島地区の産業団地内に設置の公園

莊子 敏一

- 通学中の児童生徒の防犯対策
- 発達障害の可能性のある児童生徒への特別な教育的支援

福井 和義

- 健康ウォーキングの推進
- 不登校0を目指して

山崎 隆一郎

- 公共無線Wi-Fi環境整備
- インスタグラムの活用
- ベンチのある町で町興し
- 小学校下校時の防災無線

一般質問の会議録全文は町のホームページから検索できます

松岡 高志

- 通学路の子ども安全対策をどう考えるか
- ごみ減量

長谷川 真也

- 排水路のふた等
- 町営グラウンド
- 町のピーアール
- スクールゾーンの安全
- 道の駅について問う

鈴木 勉

- 嘱託職員の雇止め問題と処遇改善
- 下赤岩地区児童に路線バス活用型・運賃補助方式によるスクールバス運行を

平野 千穂

- ごみ減量への取り組み
- 遊歩道などのベンチ増設、トイレの新設を求める
- 道徳が、今年から小学校、来年度から中学校で教科化される事

吉田 俊一

- 国民健康保険の構造問題について、町はどのように対処していくのか
- 社会保障制度の制度後退につながる制度改悪の動きについて、町として国へ意見を
- 介護保険の利用料負担

10人の議員が町政を問う



田口 義博 (自民クラブ)

Q 今後、合併をどう考える

A 財政指数を上げることが責務

問 特別職の職員で非常勤のものの選任基準について、町ではどのような選考基準があるのか。

答 総務課長 平成10年11月「議会の同意を必要とする委員等の選考基準について」を設け業務の特性に応じて選考している。

問 町の財政状況を総合的に表した平成28年度のバランスシート及び財務省の財務状況把握ヒヤリングの結果が報告され、直近8年間の収支は低水準で、資金繰りの状況や債務償還能力に留意すべき状況が続いているという。今後の行財政計画をどのように考えているのか。

答 企画財政課長 効果的・効率的な行財政運営を進めるため、今後5年間の中期財政計画を策定する。

問 町の公共建築物等の更新費用は、今後40年間で512億円と推計されている。厳しい財政状況の中ではあるが、今後の合併についての考えは。

答 町長 町民の方々から合併してほしい意見は認識

している。財政指数を上げることが責務である。東埼玉道路が開通すれば人口減少は止められると思う。5市1町での合併についての議題は出ていないが、例えば駅の整備には80億円が掛かるので、町独自ではできない。それまでには合併の考えを越谷市には伝えていきたい。

問 町道4号線の整備計画について。
答 素掘り用水の拡幅整備を検討する。



拡幅整備をまたれる町道4号線



増田 等 (自民クラブ)

Q 経営感覚コスト意識重視の財政は

A 自主財源確保が喫緊の課題の一つ

問 自主財源確保、既存資産の有効活用、コスト削減のためにゼロベースで各施策を見直す考えは。

答 **町長** 東埼玉道路や浦和野田線の開通と合わせて積極的な土地利用策を検討していきたい。

問 児童生徒数減少で増加する余裕教室の有効活用は。

答 **教育総務課長** 少人数指導、特別支援教育の充実のために転用。今後、教育施設以外の活用も研究。

問 特産品開発費996万2千円の回収見込みは。

答 **環境経済課長** 特産品開発は町の認知度向上と魅力発信が目的。開発費の直接回収を目的としていないが、町への経済効果にも期待している。

問 松伏町の保育、小学校一貫教育の取り組みは。

答 **教育長** 保育所、幼稚園、小中学校との連携した教育の成果は他市町と同等以上と考える。一貫教育実現にはカリキュラムの再編成を要する。現時点での最大の教育課題は学力向上であると捉えて

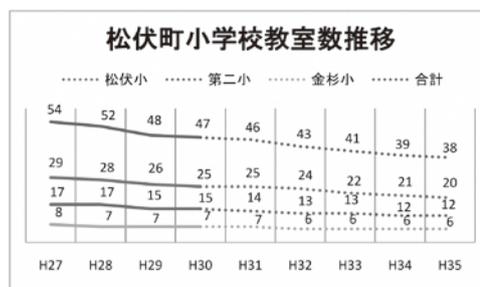
いるので、解決に全力で取り組んでいきたい。

問 子育て世代が住みたい、住み続けたい施策は。

答 **すこやか子育て課長** 子育てしやすく日本一若い町、愛知県長久手市の施策と大差ない。町の各機関同士の連携を密にしてサポートの充実を図る。

問 松伏・田島地区の産業団地に設置の公園は。

答 **新市街地整備課長** 産業団地で働く方々が憩え、また周辺住民の方々の利用を考慮した設計となるよう県と調整していく。



莊子 としかず (公明・新自民の会)

Q 下校時の送迎を推奨したらどうか

A 現状の防犯教育に重点を置く

問 通学時の児童生徒を狙った事件が毎年起きている。学校が防犯上危険だと感じている箇所は何カ所か。

答 **教育総務課長** 松伏小学校では、交通安全・防犯の危険箇所は30~40カ所ある。

問 児童生徒が通学時に一人になるケースがどのくらいあるのか。

答 **教育総務課長** 把握できていない。しかし、一人になるケースは他市町と比較し突出していない。

問 松伏町は調整区域が広く、今の答弁を信じがたい。児童生徒が一人になった時の防犯対策は十分か。

答 **教育総務課長** 100%安全な防犯対策は無い。危険を少しでも減らすために防犯教育を続ける。

問 小学校では学童保育も含めて、親が下校時に迎えに来るケースは増えている。学校では、このような状況をどう考えているのか。

答 **教育総務課長** 下校時の不審者の出没や児童生徒を狙った事件、事故等の報道もあり、保護者の防犯意識も高まっている。保護者の判断で送迎が行われているものと認識している。

問 児童の防犯上の安全を考えたとき、下校時は親が迎えに来てもらうのを推奨したらどうか。

答 **教育総務課長** 徒歩で子どもたちだけで登下校するのも意義がある。教育委員会では、引き続き防犯教育を実施し推奨することで安全の確保を図っていく。



下校時の親の送迎は増えている(金杉小学校前)



福井 和義 (無所属クラブ)

Q 健康ウォーキングの推進

A ウォーキングは健康増進に効果的

問 4月9日松伏町の各小学校で入学式が行われた。新1年生が94年後、クラス会を行うと70%の人が参加する。このクラス会に歩いて参加できるようにするには、日頃から健康・体力づくりが必要である。群馬県中之条町は、15年以上にわたって、1日の生活行動を追跡調査して「1日8千歩」という指標がある。松伏町には、ウォーキングコースが7箇所あり、ウォーキングマップも発刊されている。健康ウォーキングについて町の考えは。

答 **すこやか子育て課長** ウォーキングは、いつでもどこでも手軽に取り組める運動で、生活習慣病予防や健康増進に効果的であると考えます。

問 不登校0をめざして、「調子が悪くなったので、明日は学校に行けるよ、お母さん。」今朝は、いつもより早く起き、ご飯も食べ、さあ学校に行こう。しかし、登校時間になると急におなか痛くなり、トイレに行く。なかなかトイレから出てこない。結局、今日

も休むことになった。不登校を0にするには、多様な個性を認め合えること。教育委員会は、どのような考えか。

答 **教育総務課長** 学校からの月例報告などで不登校の状況を把握し、不登校の解消をする。



桜吹雪の中を歩ける桜コース



山崎 隆一郎 (公明・新自民の会)

Q 下校時児童生徒による放送可能か

A 2学期中の開始を目標

問 児童たちの安全の為に、下校時の放送は注意喚起を促し、見守る体制作りには大変に好感を覚える。先日町民の方から、あの放送は「見守りをお願いします。」ばかりで、「ありがとう」の言葉の放送が無いとの指摘を受けた。確かに、放送内容の中に「ありがとうございます」の言葉は放送されない。いつもの感謝の意味を込めて、「いつも見守りをありがとう」の言葉を児童生徒の声での放送が出来ないかを問う。

答 **教育総務課長** 保護者の了解を得るなど、学校と連絡調整を図りながら、具体的には2学期中の開始を目標に、実現できるよう準備を進めて行く。

問 公共無線Wi-Fi環境整備について問う。

答 **新市街地整備課長** 県営まつぶし緑の丘公園内の管理センターには、昨年度にWi-Fi環境が整備されて一般に無料開放している。

問 ベンチがあると、心に潤い、人との繋がり、体の

健康を町民に与える。そしてベンチのある幸せの町になると考えるのが、「ベンチによる町興し」先日役場の雑木林に、町民からの寄付で木製ベンチを設置した。さらに公園や遊歩道などにより多くのベンチを設置出来ないか問う。

答 **総務課長** 設置者責任として、ベンチそのものの安全性をどのようにクリアするかなどの課題もあるので、しっかりと調査して行く。



役場に寄贈された木製ベンチ



松岡 高志 (自民クラブ)

Q 通学路の子どもの安全対策を

A 関係機関と調整しながら進める

問 今年度、町道3号線の八枚橋から県道春日部松伏線までの町道を拡幅し歩道整備事業が始まる。また、新たに誘致した企業の操業が始まり交通量の増大が見込まれる。通学路でもある町道3号線と交差している各町道の安全対策をどう考えるか。

答 **まちづくり整備課長** 町道3号線の整備後は、歩道と車道が分離され、児童の安全確保が図られる。児童が町道3号線を横断する交差点については、横断歩道の整備が必要と考えている。今後、警察署と調整し設置に向けた協議をしていく。

問 東久留米市では、民間企業の協力を得て、市の負担なく、小学校の通学路に防犯カメラを設置する。松伏町でも同様な取り組みができるか。

答 **総務課長** 防犯カメラは防犯効果も期待できるが、防犯カメラで町を見守ろうとすると、相当な数になる。東久留米市と同様な取り組みは、今後慎重に調査・研究していく。防犯カメラを設置することも必要であると考えているところから、9月か

ら始まる県の防犯サポータ制度などをしっかり調査・研究して、今後対応していきたい。

問 ごみ減量、10%削減について問う。

答 **町長** 10%削減は大変ではあるが、枝木の搬入だけで松伏町は年間を通して10%あり、そこをどうにかすることで可能と思う。未来の子供たちのため、努力する気持ちを町全体で共有していきたい。



拡幅された町道745号線と3号線の通学路交差点



長谷川 真也 (町民クラブ)

Q 危険な排水路の対応を問う

A 必要に応じ安全対策を行う

問 排水路のふたが歩道になっている危険個所の対応を問う。

答 **まちづくり整備課長** 排水路のふたが歩道として利用されている箇所を確認したところ、水路へのふたかけも含め、10か所ほどありました。松葉地区内の2路線に段差が数か所あることを確認した。この段差は、解消を図っていく。

問 スクールゾーンに住んでいる方々の対応を問う。

答 **総務課長** 現在、町ではスクールゾーンに面する住民の方に対し、許可証の取得について周知は行っていない。今後、吉川警察と協議しながら、町で有効に許可証の申請をするよう通知を発出することが適切かどうかも含めて、相談する。

問 越谷市も増林地区に道の駅をつくる予定があると聞いている。距離的にも近い場所だと思うが町では、どう考えるか問う。

答 **新市街地整備課長** 道の駅の開業後の運営におい

ては、近隣の道の駅同士が連携した来客の促進策の実施という取り組みも想定されこのため、道の駅同士の競争の視点だけではなく、道の駅同士の連携と言った視点も持ち合わせていく必要があると考えている。

町長 決して近くに道の駅がいくつかできたからといって、マイナスには、考えない。越谷の道の駅で半日遊んで、松伏町で半日遊んで帰れば、1日東部地区で遊べるような地域づくりが逆にできるのではないかとこの形で連携をとっていきたい。



段差のある排水路



鈴木 勉 (無所属クラブ)

Q 遠距離通学児童に路線バス活用を

A 必要性ない 徒歩通学で体力つけて

問 下赤岩地区児童は、最も遠い岩平地区で1時間近い徒歩通学となっている。同地区から松伏小学校の区間は、路線バスが運行されており、スクールバスの代替として路線バス活用型・運賃補助方式による児童の送迎を実施することにより、遠距離通学問題の解決が図られる。町の見解は。

答 **教育総務課長** 国の基準として適正な通学距離が示されている。小学校ではおおむね4キロ以内という基準がある。松伏町では、すべての地区が基準内である。徒歩で集団登校することのメリットもあり、健康増進、強い体と心を育てることができ、集団登校により上級生が下級生を見守りながら登校することで、正しい心、優しい心が育まれる。しかし、距離が長いことによるデメリットも当然あることも理解している。保護者の皆様の要望があることも承知しておりますが、現行の徒歩での通学を続けていきたいと考えている。

問 下赤岩の場合は、路線バスの活用で対応できる。

その必要性も感じていないということか。

答 **町長** 感じていない。

問 保護者の方の強い要望もある。一つの案として下校時のみ路線バス活用という方法もあるが、それも必要性はないと考えているのか。

答 **町長** 体力をつけながら徒歩通学してほしいという認識である。



1時間近く徒歩で通学する下赤岩岩平地区の児童



平野 千穂 (日本共産党)

Q ごみ減量へ予算つけた取り組みを

A 導入可能な制度を研究していく

問 1人当たりのごみ量が、東埼玉資源環境組合の中で5市は毎年減量しているが、当町だけここ数年増え、ピーク時に近い量となっている。ごみ減量のため庭木の剪定枝・刈草・落葉を①各家庭が堆肥化施設に持ち込めるよう軽トラックの貸出しを行えないか。②予約制で町が回収を行えないか。③ペットボトルは、リサイクルのため回収している量より多い量のごみとして出されている。月1回の回収を2回に増やせないか。④町内で白色トレイ等の店頭回収をしているスーパーは、2店舗のみ。未回収の店舗等に協力要請を行えないか。

答 **環境経済課長** ②細分別・再処理する場合の作業場や置場不足の課題があり、すぐ実施とはいかないが、収集体制を含めごみの減量化やリサイクルの推進施策の手段として検討していく。③費用対効果や今後の排出量の推移で判断していく。役場等6か所の公共施設に拠点回収ボックスを設置している事を改めて広報紙等で周知する。④費用や近隣市の動向等を踏まえ、平成31年度に予定している次期分別収集計画策定時に研究していく。

答 **町長** ①剪定枝の量が一番多い5月だけでも堆肥化施設に持ち込みできれば10%削減に近づく。③各家庭がストックする意識を高める方が先決。④すばらしいアイデア。検討していく。

他「遊歩道などのベンチの増設、トイレの新設を求める」、「道徳の教科化について」質問した。



剪定枝などの堆肥化施設 (東埼玉資源環境組合)



吉田 俊一（日本共産党）

Q 子どもに対する国保税の減免を

A 他市町の状況、試算等し検討する

問 平成30年度から県と市町村の共同運営となった国民健康保険。県知事会などが中心に国の公費投入（1兆円）を求めてきた結果、広域化に伴う国保税値上げがないように、一定額の公費投入が行われた。保険料・保険税の比較をすると、中小企業のサラリーマンが加入する「協会けんぽ」とくらべ、子どものいる世帯の負担は1.9倍という状況である。町としてどのように認識しているのか。

答 **住民ほけん課長** 被保険者の構成、所得層の違いから協会けんぽ保険料と国民健康保険税について違いがあると認識している。

問 高すぎる国保税負担軽減について、特に子育て世帯の負担（子どもへの課税）は国保の構造的な問題の一つである。国へ改善を求めることとあわせ、町として減免に取り組めないのか。

答 **町長** 杉戸町は多子世帯の減免（第3子以上）を行うとの報道を見た。他市の状況を研究し、検討したい。

問 3人目からでなく、松伏町は1人目から助成するという意気込みで取り組んでほしい。

答 **町長** シュミレーションをはじき出してみたい。

給与年収400万円家族の国保税・保険料 子ども的人数による比較

給与所得者本人30歳代・妻30歳代専業主婦・子ども1～3人

	町国民健康保険税	埼玉県協会けんぽ	比較
子ども1人	341,700 円 *1	200,940 円	1.70 倍
子ども2人	379,500 円	200,940 円	1.89 倍
子ども3人	379,500 円 *2	200,940 円	1.89 倍

*1 国保税均等割・子ども1人につき 3万7800円

*2 年収400万円 子ども3人世帯は、法定軽減(均等割2割軽減)に該当

意見書

旧優生保護法により不妊手術の被害者救済を求める意見書

厚生労働省によると、旧優生保護法のもとで不妊手術を受けた障がい者らは約25,000人。このうち、本人の同意なしに不妊手術を施されたのは16,475人と報告されている。

1. 国は、速やかに旧優生保護法に基づく不妊手術の実態調査を行うこと。
2. その際、都道府県の所有する優生保護審査会の資料などの保全を図るとともに、資料保管状況の調査を行うこと。あわせて、個人が特定できる資料について、当事者の心情に配慮しつつ、できる限り幅広い範囲で収集できるよう努めること。
3. 旧法改正から20年以上が経過しており、関係者の高齢化が進んでいることから、的確な救済措置を一刻も早く講じること。

全議員賛成で可決された。

「生活保護基準の引き下げに反対する意見書」と「特別養護老人ホーム整備事業者募集の早期開始を求める決議」は否決された。